

科目名	<b>観光論入門Ⅱ</b>	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ) <input type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)	
			観光学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Introduction to Tourism Theory II	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年	
ふりがな	いとうえ ひろし	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
担当者名	井上 寛	修得単位	2単位	
授業のテーマ	「観光」のキーワードを学ぼう			
授業概要	観光論入門Ⅰに続き、これから4年間観光を学ぶ上で必要な知識や考え方を学びます。特に、最新の観光について学ぶことを重視しますので、新聞やニュースの出来事を講義でも取り入れていきます。			
到達目標	観光学とはどのような学問なのか全体的に理解することができる			
授業時間外の学習	教科書はやや難解な部分があると思いますが、予習・復習時に目を通して下さい。新聞やテレビ、インターネットには「観光」の話題が豊富です。常日頃より観光のニュースに関心を持って生活してください。			
履修条件	必修科目に指定されていませんが、観光学を学ぶ上での基本となりますので、観光学科1年生は観光論入門Ⅰ(前期)と併せてこの科目を受講することをお勧めします。			
授業計画				
第1回	諸外国の観光政策			
第2回	地域観光とまちづくり			
第3回	旅行産業の現状と展望			
第4回	宿泊産業の新しい展開			
第5回	運輸産業の特質			
第6回	テーマパーク産業			
第7回	文化施設と集客			
第8回	観光産業とホスピタリティ			
第9回	コンテンツツーリズムとまちおこし			
第10回	ブライダルツーリズムの可能性			
第11回	アジアにおけるメディカルツーリズムの勃興			
第12回	ダークツーリズムの概念の登場と拡散			
第13回	フードツーリズムによる地域活性化			
第14回	祭礼文化と観光			
第15回	復習			
第16回	定期試験			
テキスト	竹内正人他 編著『入門 観光学』ミネルヴァ書房 2018年 (2,800円+税)			
参考文献・資料	週刊「観光経済新聞」 ※図書館1階にあります			
成績評価の方法	①定期試験(50%)…知識を問う問題と論述問題を課します ②レポート課題(20%)…パソコンで作成し提出してもらいます。正当な理由なく提出期限を守らなかった場合は加点しません。 ③小レポート(15%)…毎時間出席カードの裏面に書いてもらいます。なお、課題に対して満身に解答する姿勢が見られない場合は、加点しない場合があります。 ④平常点(15%)…遅刻、マナー違反(私語・携帯操作・途中無断退席など)は加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			

オフィスアワー	① 毎週月曜 10:40～12:10 ②毎週金曜 13:00～14:30
学生への メッセージ	観光の分野は新しい「アイデア」が大切です。既成概念にとらわれず、柔軟な発想で新しいアイデアを提案できるように日頃よりトレーニングしましょう。